**第５２回登別市市民自治推進委員会　育み部会議事録**

（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 令和３年４月２６日（月）１８時００分～ |
| 開催場所 | 市民会館　小会議室 |
| 出席者 | （部会長）　　神谷博達  （副部会長）　安宅錦也  （部会員）　　仲川弘誓、合田美津子、大坂倫一、  　　　　　　　磯田大治  （読書活動家）松山哲男、高木三千子、須藤和恵、武者正樹  （庁内委員）　重山大介、近藤正嗣  （事務局）　　大越智輝、佐々木健、相馬杏 |
| 欠席者 | （部会員）　　佐藤文子 |
| 議題 | （１）本を読むことを広める取組みについて  （２）のびのび公園の利活用に関する取組みについて |
| 配布資料 | 第５２回育み部会参考資料（部会長作成） |

※読書活動家の４名の方々にもご参加いただき、育み部会ができる活動について協議した。

○育み部会の考え（前回の部会から）

・育み部会として、今参加しているメンバーで少しずつできる活動から始めてみる。

・活動を通して読書活動等の様々な団体同士をつなげていきたい。

○会議の要点

（１）本を読むことを広める取組みについて

・各家庭で集めた絵本などが置かれていて、いつでも自由に集まれる場所がアーニスなどにあったら楽しそう。

・「きらん」のような大人もこどもも自由に集まれる場があればいいと思う。

・本の貸し出しはしなくても、月１回くらいの開催で地道に読み聞かせなどの活動ができればいいと思う。

・おはなしぽけっとでも図書館で読み聞かせを行っているが、１～３組くらいしか集まらず、読み手のほうが多いことがある。

・まちライブラリーを見学したが、素晴らしい取り組みなので、それを広める取り組みをしてもよいと思う。

・絵本を媒体にして、こどもや大人に向けてどういう取り組みをしていくかが課題である。

・まちライブラリーは幅の広い本を集めているが、育み部会は絵本や児童書を中心に集めて、まちライブラリーのような取り組みをしてはどうか。

・ただ絵本を置いておくのではなく、月１回程度こどもや大人向けの読み聞かせを行い、さらにビブリオバトルもやってみるのはどうか。

・参加者にも読み聞かせをしてもらって、感想を述べあうこともよいのでは。

・まずは人が集まってくる絵本があるコーナーをつくることから始めてはどうか？

・魅力的な本をどう集めるか？

・月１回の開催であるなら図書館から借りることも可能では？

・コーナーは常設して、いつでも母親などが読み聞かせをできる場所がいいのではないか。

・絵本を中心としたワクワク感のある場所をつくるためには、図書館から借りた本を置いておくのではなく、何らかのかたちで本を集めて魅力的に配置して置く必要があるのではないか。

・魅力がある、ワクワク感のあるというコンセプトを持ってやるべき

・毎月決まった週の決まった曜日で開催しないと、人が集まりにくい。

・まずは種類を問わず、一般の家庭や学校に協力を依頼して、絵本を集めることから始めるべき。

・収集方法としては、文書を配布して協力を仰ぐ。

・函館の商業施設「シエスタハコダテ」が「つながる絵本」というものをやっている。

　店頭に本を３冊以上持って行くと、木のコイン２つと交換することができ、コイン１つで新しい本と交換することができて、自動的に本が集まるシステムになっている。この取り組みも参考となるかもしれない。

・最初から理想的なかたちにはできないから、段階を踏んで、最終的に「きらん」のようになればいいのでは。

・資金がなくてもできることから始めるべき。

・絵本に触れる機会を増やすことが大事なのではないか。

・ターゲットを未就学児としても、開催情報はその親がキャッチするので、周知方法はそこを考慮しなければならない。

・絵本ポストのようなものを公共施設に置いても本が集まるのではないか。

・アーニスに会場を常設できるのかを確認する必要がある。

・本の集め方は、学校をはじめ、色々なところに呼びかけをして、寄贈を促す。

・コロナ禍の状況を考慮すると、常設スペースを設置するよりも、読み聞かせをまずやってみるのがよいのではないか。

・コロナ禍を考えず、まずは理想的な活動のスタイルをイメージして、その中でスタート時に何から始められるかを、その時の状況に応じて判断するというかたちでよいのではないか。

・本を集めることはコロナ禍でもできる取り組みなので、まずは本を集めておいて、活動する際にそれを活用して取り組みを行うのがよいのではないか。

・まちライブラリーも加味したものにしたい。

・まずは本を集めて、活動は状況を見ながらその時にできることを行っていく。

・ある程度のスケジュール感を共有する必要がある。

・次回はそのスケジュールを見ながら、協議する。

（２）のびのび公園の利活用（ボール遊び）に関する取組みについて

・取組みを始めた１シーズン目（平成３０年度）は、期間が短く利用者数も少なかっ

たように感じたが、２シーズン目（令和元年度）は取組みがだいぶ浸透してきて利

用者数も増えてきたところであったが、昨年度はコロナにより取組みができなかっ

た。このまま整備したコートが朽ちていくのはもったいない。

・コロナの収束はまだ見えないが、ボール遊びができるルール及びコート整備については続けて、定着を図りたい。そこまでやらないと、この取組みの評価ができないと思う。

・以前は地域住民や小学生を対象にアンケートも実施していたが、今年度はコロナの

影響もあると思うので、アンケートは実施しない予定。

・コート整備をして、開始時期については様子をみながらでよいのではないか。

・４月１５日に現地確認を行った際は、ペグが抜けていたりロープが草に埋もれてい

て、コートの役割を果たせていない状況であった。再度コートの整備が必要。

○次回について

　　日時：令和３年５月２４日（月）に開催

　　内容：本を読むことを広めるための取組みについて

・のびのび公園のコート整備

　　日時：令和３年５月３０日（日）午前９時～

　　内容：新しいロープの設置